

# 学生へのメッセージ 「医の道」



No.9 令和4年1月10日(月) 2022-1号 (隔週発行)

発行責任者:神戸総合医療専門学校・松江総合医療専門学校理事長、新須磨病院院長 澤田勝寛

[isonare@ka2.so-net.ne.jp](mailto:isonare@ka2.so-net.ne.jp) 毎月第2、4月曜発行 令和3年(2021年)9月13日創刊

## ◆新年あけましておめでとうございます。

今年最初の発行です。最終学年の皆さんはいよいよ国試が迫ってきて、必死に頑張っていることと思います。前号で話をしましたように、私も一生で一番勉強をしたのが医師国家試験前です。1日15時間を1月間続けました。それで何とかぎりぎり国試に合格したのです。あとひと月、それこそ死に物狂いで頑張ることです。1点、2点が合否を分けます。頑張りましょう。

## ◆コロナ関係

オミクロン株感染はあれよあれよという間に爆発的に増加し、もうすぐ一日の感染者数が1万人になる勢いです。その反面、重症者は少ないようです。それでも、感染者数の増加とともに濃厚接触者も増え、隔離14日による労働力不足が懸念されています。短期間に感染拡大することで、短期間に陽性者や濃厚接触者が増えるため、連鎖反動的に労働力不足がおこります。例えば、保育所が止まると、ママさん看護師が出勤できなくなり、病院機能も限定されるわけです。沖縄ではすでにそのような状況になっているようです。

病院の受け入れ態勢も、明日からOKというわけにはいきません。重症化のリスクは低いとはいえ、急拡大は社会に色々な影響を及ぼします。

昨年4月、5月にデルタ株で大きな危機感を持ったことを思い出し、いまいちど感染防御対策の徹底が必要だと思いました。

気が緩む友達との会話、マスクを外し緊張感も緩む食事と更衣は特に気を付けましょう。

## ◆防御のために

どこでも換気  
どこでもマスク  
どこでも消毒



## ◆夢を実現する(ある小学校六年生の作文)

僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには練習が必要です。僕は三歳の時から練習を始めています。三歳から七歳までは半年くらいやっていたんですが、三年生の時から今までは365日中360日は激しい練習をやっています。

だから一週間で友達と遊べる時間は、5、6時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズです。ドラフト入団で契約金は1億円以上が目標です。僕が自信があるのは投手か打撃です。

去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そして、ほとんどの投手を見てきましたが自分が大会ナンバーワン選手と確信でき、打撃では県大会4試合のうちホームランを3本打ちました。そして、全体を通した打率は5割8分3厘でした。このように自分でも納得のいく成績でした。そして、僕たちは1年間負け知らずで野球ができました。だから、この調子でこれからもがんばります。

そして僕が一流の選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って応援してもらおうのも夢の一つです。

とにかく僕の一番大きな夢は野球選手になることです。

愛知県西春日井郡豊山小学校 6年2組  
鈴木一朗

イチローが小学校の時に書いた作文です。夢を信じ夢に対して本気で立ち向かっている様子が伝わります。代償を厭わず、悔いも未練もなく、野球に打ち込んでいます。お世話になった人への恩返しも述べており、見事としかいいようがありません。

生まれつきの天才はいません。イチローだけでなく、羽生結弦選手も藤井聡太竜王も生まれつきではありません。並々ならぬ努力をしたのです。天才とは努力する才能のことであるという言葉もあります。